

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：第二回邑智郡要介護者残存歯数調査</p>
<p>2. 申請者名：邑智郡歯科医師会 代表者 富永一道</p>
<p>3. 実施組織：主催 邑智郡歯科医師会 後援 島根県県央保健所 邑智郡総合事務組合介護保険課</p>
<p>4. 事業の概要：高齢者率 40%、後期高齢者率 26%に達し、少子高齢化が進行している当地域において、高齢者の残存歯はケアが適切に為されない場合 QOL を損なう可能性があるのではないかと、過去の邑智郡歯科医師会の調査から指摘されてきた。そこで、要介護高齢者の残存歯数とケアや食事の状態などを調べる目的で、第一回邑智郡要介護者残存歯数調査（平成 19 年 11 月より 20 年 4 月）をケアマネジャーと施設の口腔ケア担当者に協力を求めて行った、その結果を踏まえて、第二回は要介護者の口腔環境の変化を継続調査することによって口腔ケアの重要性をより明らかにし、郡内の医療保健福祉関係者へ情報提供することを目的とすること、さらに、本事業をきっかけにしてケアマネジャーや施設担当者が要介護者の口腔内観察を日常的に行い、日常業務として口腔内観察記録を作成することに違和感を感じなくなることを期待して行った。</p>
<p>5. 事業の内容：郡内 32 ヶ所の介護施設および居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーおよび施設の口腔ケア担当者に調査票と口腔内観察に使用する歯鏡、懐中電灯等の器具を配布し、平成 22 年 11 月 1 日より平成 23 年 1 月 31 日までの 3 ヶ月間を調査期間とした。調査対象者は郡内の介護保険利用者 1800 名とし、調査を行うことができた数は 1137 名（63.5%）であった。</p> <p>第一回から、約三年経過したばかりであるので全体に大きな変化は見られなかったが、平均年齢は若干高齢シフト（85.3±7.8 歳→86.3±7.5 歳）しており、認知症が進行している傾向がみられた。郡内の介護保険利用者における女性の割合が増加（68.9%→73.7%）しており、要支援 1 と要介護 5 の方の占める割合が若干増加していた。また、食事摂取の状況では、経管栄養の比率が増加（5.5%→8.3%）し、調整食を摂取する割合が増加（26.8%→36%）していた。</p> <p>同時にケアマネジャーへこの調査の意義や介護保険における口腔ケアの位置づけなどを尋ねたところ、現行の介護保険制度では口腔ケアサービスは十分に提供できないと考えている方が 90%を超えていた、またこういった要介護者の口腔内観察をする調査事業について、今後も必要と必要でないがちょうど半々で拮抗していた。この原因として、口腔内観察に対して時間がかかる、難しいといった技術的な困難さを訴える方が多く見られた。</p>

6. 実施後の評価（今後の課題）：今回の調査では二年間の介護度の変化を調べているので介護度の変化に関係する要因に関して分析できるのではないかと考えている。さらには、施設と在宅では要介護者の介護度が異なるため両者を区別して解析する必要があると思われさらなる分析を進めてより詳細な報告書を完成させたい。ケアマネジャーに「介護度悪化の要因は何か」とたずねた時の回答で、「食事」という回答が非常に少なかったのは意外であった。高齢者の低栄養はQOLだけでなく、生命予後に大きな影響を与えている点を考えると、高齢者の栄養管理に関する取り組みが必要であり、第一回報告書の考察でも述べているように、一連の栄養管理の一環として口腔機能の維持管理が位置づけられなければならないと思われた。口腔内観察に対して困難さを指摘するケアマネジャーが見られたが、このことはケアマネジャーという職種の持っている多様性と関係があるように思われた。つまり、ケアマネジャーになる前は医療や福祉など多様な職種を経験しているわけで、その職歴によって、口腔内観察に対して抵抗感を感じる人や、そうでもない人などに分かれるのではないかと考える。今後研修などをおして、違いの解消をはかる必要があるように思われた。

現在、ケアマネジャーが要介護者の口腔内観察記録を作成し評価することに関して、様々な考えがあるが、口腔ケア技術を普及定着させていくためには、ケアマネジャーや施設職員による口腔内観察記録の作成と評価が最初に為されなければならないことだと考えている。従って、数年に一度はケアマネジャーを中心とした要介護者残存歯数調査を継続して実施していきたいと考えている。

今回の補助事業による、器具の整備により郡内の介護保険関連施設での口腔内観察が行われやすくなることは、今後の事業展開の観点からも喜ばしいことであり、8020 推進財団に感謝したい。